

県議会傍聴

昨年度に続き、令和6年6月7日（金）に、本校3年1組文系の生徒24名が、令和6年第2回茨城県議会定例会の本会議を傍聴しました。

これは茨城県教育委員会の「高校生による茨城県議会の傍聴」に申し込み実施したもので、成人年齢引き下げに伴う主権者教育の一環として、「政治・経済」を学ぶ3年生に対して実施したものです。

当日は、県議会事務局・県教育委員会の方から説明を伺った後、県議会の傍聴席で高橋県議の一般質問・質疑を傍聴しました。高校生にも関係の深い内容が多く、「ジェンダーバイアス解消に向けた学校での取組について」や「シティズンシップ教育の県立高校での取組について」など、生徒は興味深く、メモを取りながら熱心に質疑に耳を傾けていました。

生徒は今回の傍聴を通じて、県議会や県政を、より身近なものに感じ、主権者そして、有権者としての意識の高揚を図ることができたと思います。

